

さわやか

令和2年 8月3日発行

校長 酒井 紀幸



8月に入り、1学期も残り1週間となりました。6月の学校再開から2か月。今年度は1学期の通知表は作成されませんが、学習・生活・部活動を自分自身で評価することが大切です。

さて、運動部では7月4日（土）～12日（日）に「河北郡市交流試合」が行われました。今年度の全国・北信越・県・加賀地区大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止されました。生徒・保護者にとっては、とても残念で一時は目標を見失うこともあったのではないかと思います。その中で一人一人の生徒がこの交流試合に向けて頑張っている姿を見ることができました。また、大会当日は、3密を回避するための入場制限がある中にもかかわらず、多くの保護者や地域の皆様から応援をいただき、本当に有り難うございました。

また、吹奏楽部の定期演奏会や創作部の金沢を描くコンクールへの出品など、それぞれの理想とする姿に向けて努力する姿勢に心をうたれました。今後は、次なる目標（自分の進路選択や新人チームでの練習）に向けて頑張してほしいと思います。これまでの部活動で培ってきた体力や精神力、部員相互の絆などは何ものにも代え難いものであり、今後の生活に必ず生かされていくものと思います。

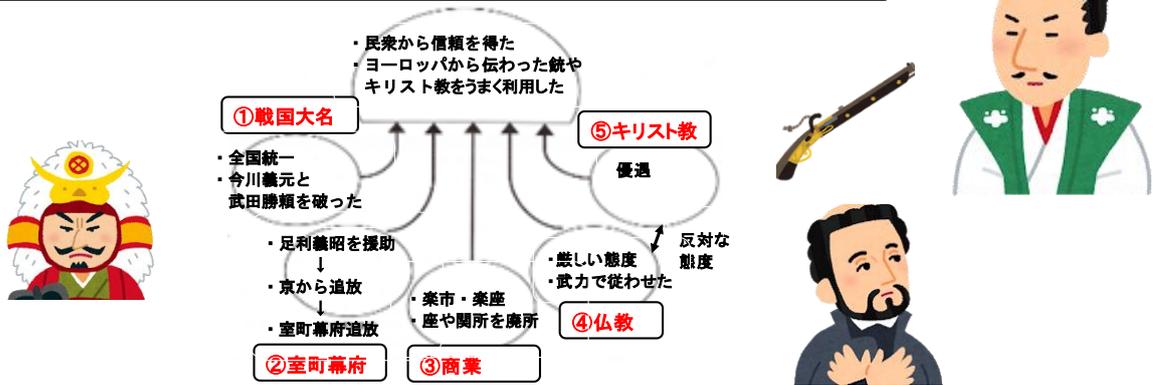
そして、毎日の授業でも「まっすぐに手を挙げる」「集中した授業の姿勢」など一時間一時間を大切にすることを、県教育委員会の皆様からも褒めていただきました。良かった点は、自信を持って継続してほしいと思います。

お子様の満足度や達成感は一人一人違うと思いますが、保護者の皆様には、お子様と一緒にこれまでの学習や生活を振り返っていただき、今後に向けての励ましの言葉をかけていただきますようお願いいたします。

＝ 考えるレンズを手に入れる方法 ＝

授業では、「知識を得たりできるようになったりする」ことはとても大切です。それと同時に、「学習したことをどう使うか」がより求められる時代になっているのではないのでしょうか。社会のある授業を例として紹介したいと思います。

【社会科】課題：「織田信長は、なぜこんなに早く領地を広げることができたのか」



上の図は、2年生社会科の課題である「織田信長は、なぜこんなに早く領地を広げることができたのか」に対して、①戦国大名、②室町幕府、③商人、④仏教、⑤キリスト教の5つの観点から事実を見つけ出し、課題の答えが何かをまとめた思考ツールである「クラゲチャート」のひとつです。このような図がいくつあれば興味を引かないわけがありません。この授業を参考に、「どう使うか」の例を2つ紹介します。

(1) 「織田信長」を、何かに置き換えてみる方法。

例えば、現代の大企業「アマゾン」や「グーグル」に置き換え、その発展をいくつかの事実で捉えて考えたらどうなるでしょう。アマゾンは1994年、グーグルは1998年の創業で、20～30年で成長した企業です。また、自分になりたい職業に置き換えて考えても面白いでしょう。

(2) 中学校の勉強と結びつける。

「商人」→計算力→数学。「キリスト教」→外国→英語。「銃」→最先端技術→理科・技術。

このように連想し、各教科との関連を見つけ出すことで、自分にとって学習している教科の大切さや意味を考えてみてはどうでしょう。

「楽をして簡単に身に付くものではありません」。しかし、考え、自分を磨き続けることで自分自身に誰にも真似できない付加価値をつけることは可能です。一つ一つの授業（生活）を大切に、考える良いクセを身に付けて欲しいと思います。

1学期が終わり、2学期が始まります

8月の生活目標

1学期のまとめをしよう(前半)

計画的で規則正しい生活を送ろう(後半)

8月の学習目標

自分の学習をチェックしよう!



6月と7月に石川県及びかほく市の教育委員会の方々が来校され、本校の授業を参観されました。落ち着いた雰囲気の中で前向きに学習に臨む姿勢や、各学級・各学年の充実した掲示環境など、生徒たちの生活面や学習面における学校再開後の取組についてお褒めの言葉をいただきました。この現状に満足することなく、さらなる向上を目指して、日々取り組んでいこうと考えております。さて、今年度はコロナ禍のため、夏休みが8月8日(土)～18日(火)までと例年より大幅に短くなっています。したがって、この8月は「1学期の終わり」と「2学期の始まり」があり、切り換えが大事になる時期でもあります。

また、臨時休校中に家庭学習の重要性を痛感したところです。学校でも指導していきますが、この短い夏休み期間中に、家での時間の使い方を見直し、計画的に学習を積み重ねていけるようご家庭でもご協力をお願いします。

《車での送迎についてお願い》

本校は車での送迎率が高いように思われます。悪天候の場合や足に怪我をしているなどの特別な場合を除き、できるだけ自分の力で登下校させていただくようお願いいたします。遠距離の生徒には自転車通学も許可しておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。

なお、特別な事情で送迎をされる場合は、事故が発生しないよう安全な場所での乗り降りをお願いします。その際は、学校敷地内および学校前の狭い道路には乗り入れをなさないようにお願い致します。

数年前、学校前の狭い道路で交通事故がありました。やはり下校時の送迎中の事故でした。他にも登下校の際に危険と思われる場面がたびたび見受けられており、近隣の住民からも苦情が寄せられています。送迎の車の数を減らすことができれば、このような事態も解消されると思ひます。

また、健康でたくましい身体をつくるためにも、毎日の登下校を自分の力ですることは大切なことと考えます。ぜひ早起きをさせ、余裕を持って登校させてください。そのためには、規則正しい生活を心掛け、無駄な夜更かしをしない生活が大切となります。そして、下校時も迎えに来ることなく、自分で歩いて帰宅させてください。安易に車で送り迎えをする優しさではなく、自力で登下校させる厳しさで愛情を示してあげてほしいと思ひます。

ただ、最近は交通事故をはじめ物騒な出来事も多く発生しています。それぞれのご家庭での事情もあると思ひますので、送迎を全面的に禁止としていないのが現状です。ご家庭でよく話し合い、安全で、スムーズな登下校を全生徒ができるようにご協力をお願い致します。

豪雨災害の支援募金へのご協力 ありがとうございました

7月3日以降に熊本県を中心に九州地方で集中豪雨が発生しました。10日時点で、熊本県南部、川辺川・球磨川流域の人吉市や球磨村を中心に、死者数は60人以上に上りました。

そこで、生徒会執行部が中心となり、14～17日の4日間、「豪雨災害支援募金」を行いました。

その結果は以下の通りです。集まった募金は、かほく市を通じて現地にお届けさせていただきました。皆様のご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。

